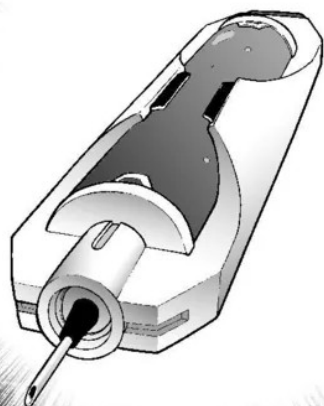


強化剤

20XX年に開発された、人間の筋力・視力・免疫力等あらゆる機能を自在に増幅強化できるそれは



医療 美容分野やスポーツ業界など人間社会にあらゆる革命をもたらしたが、その一方で数々の模倣品やそれを悪用する多くの犯罪を産んだ

特に社会問題となったのは主に男性利用者が自身の肉体を強化して行う暴力的な事件

男性の場合潜在的な暴力性や非社会性も強化剤によって増幅されることが発覚したのは「強化剤が既に広く社会に浸透した後だった」

「ほら♡もつと必死で逃げないと♡」で犯されちゃうよ♡♡」

「強化男性様のザーメンたっぷりプレゼントしてやるからなWゲハハハW」

「パタン」

「止めなさいッ!!!」
「その3人組ッ!!!」



日本政府は強化剤を使用した
あらゆる犯罪に対し攻的な
強化警察を組織

強化警察は
強化剤による暴力事件や
非合法的強化剤の売買を捜査
これを取り締まる

「強化警察警部補
上志波美琴ですっ!!
貴方達の強化剤使用容疑と
暴力行為を確認しました!!」

「現時点で我々には
強化剤を使用した
介入行為が認められます!!」

「大人しくすれば怪我せず
済みますよ?どうしますか?」

「はあ?舐めんなよ女あ!!
そんな細っせえ体でえ
何ができるってんだよおっ!!」

「強化剤ッ
装填
吸入!!」

「ダメだっ!!
美琴!!」

「鎮圧装備
展開っ!!」

「状況!」



「開始っ!!」



強化警察 吉課
かみしばみこと
上志波 美琴
警部補

強化警察 吉課
はつせ れんと
初瀬 連人
巡査部長

今では俺より偉い
現場のリーダーだ

「強化剤使ってこれとか…
もっと骨のある男は
居ないんじゃないか」

「弱剤吸入投与完了っ…
全く…威勢が良いと思ったら
あっさりでしたね先輩っ」
また事件を一瞬で解決—
美琴は俺の後輩で
訓練学校時代からずっと
成績1位の超優等生



「美琴っ!!強化剤の投与
また相棒の許諾
取らなかつただろっ
それにあんな無茶な戦い方」

「美琴に何かあったら
相棒の俺は…」



『えへへ♥大丈夫ですっ』

『私優秀ですのでっ
だから安心して下さい
レント先輩♥』



強化警察では
強化剤を使用し
鎮圧を行うのは
女性と決まっている

女性の方が男性に比べ
強化剤を使用しても
意識をコントロール
しやすいからだ

ただその強力な力を
制御するため欠かせないのが
相棒^{バディ}という存在

強化警察では
女性側が指名した
人間が相棒^{バディ}を務める

最も...なんで俺みたいなのが
こんなに優秀で可愛い
美琴の相棒^{バディ}に
任命されたのか謎だった



俺は正直調子に
乗っていた

どんなことが起きても
美琴は上手くやってくれるー
そんな慢心から事件は起こった

勤務中に美琴が
行方不明になった



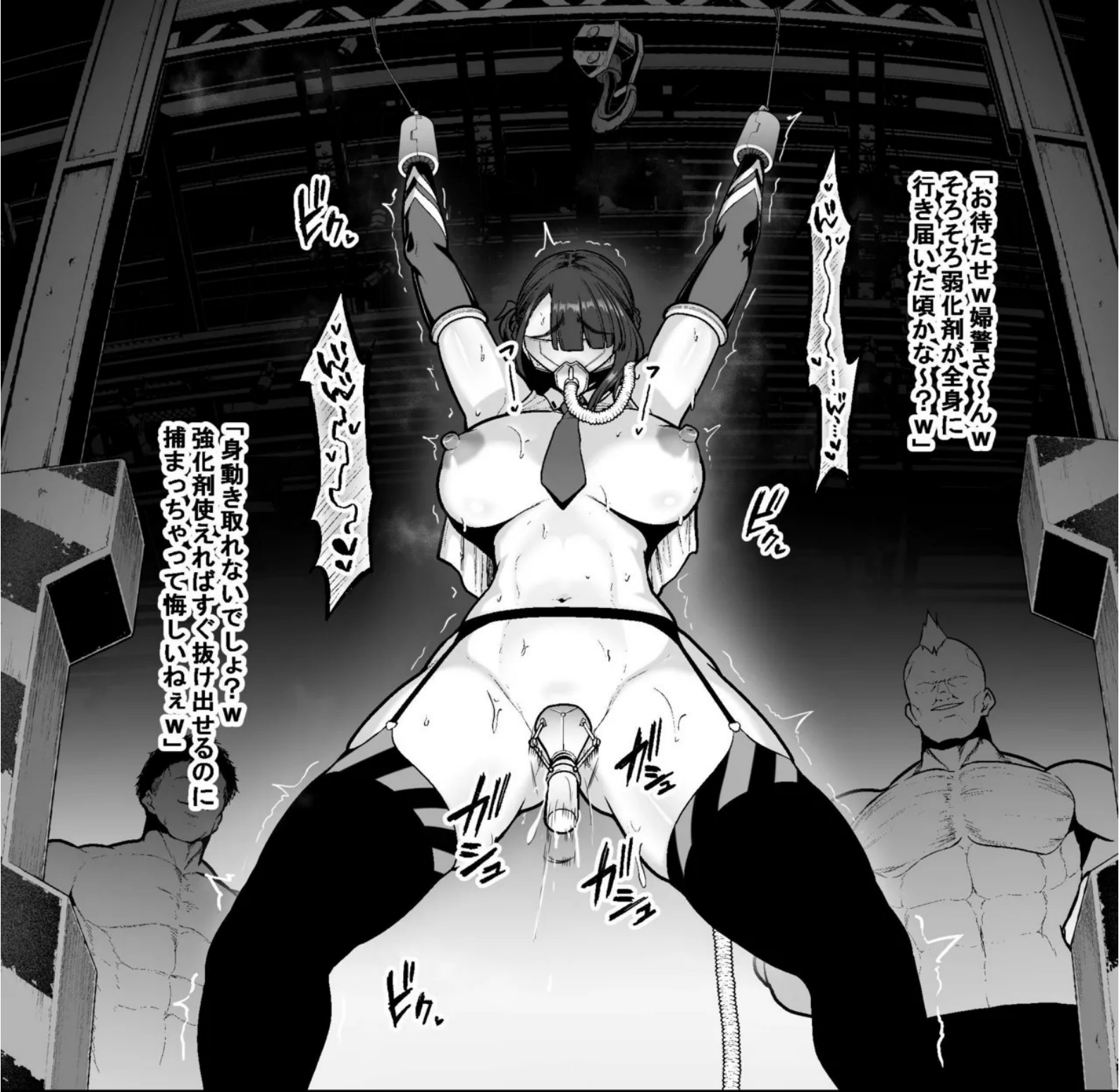
それは俺が
いつも通り
美琴の単独行動を
救ってしまった
ためのミスだった

手掛かりは
掴めないまま
時は過ぎー
その1か月後

捜査班は
ダックウェブ上で
拡散された
美琴の姿が
納められた
動画ファイル
を発見した

動画の内容は
あまりにも
酷いものだった





「お待たせW 婦警さんW
そろそろ弱化剤が全身に
行き届いた頃かなW」

「身動き取れないでしょうW
強化剤使えればすぐ抜け出せるのに
捕まっちゃって悔しいねえW」



「つとWそろそろいいだろ
ブハハW随分余裕なさそうだな」



「正義の味方のお巡りさんが
こゝんなおもちゃで
イカされまくってW
みっともねえなあW」

「てか婦警さんマン汁
出し過ぎW」

「やつほゝ美琴ちゃん♡
久しぶり♡こないだは
随分派手にやってくれたねw」

「あつ…あなた」の前の!!
何で?!まだ出て来れる訳が…」

「フハハw美琴ちゃんウブだねw
俺らカルテルと君んとこのトップ
結構昔からズブズブでねw」

「まつ そんな訳で
美琴ちゃんには
この前の礼をたつぷり
しようと思つてねw」

せつぱい

「フハハwおれが
随分お気に召したみたい
だねw婦警さん♡
オモチヤ相手にマン汁分泌
させすぎだろww」

カアアア

ドロドロ

クソっ…
こんな奴いつもなら
一発なのにっ…!!

「からかわないで早く…」から
出しなさいっ…さもないと…
この前よりもっと酷い目に
遭いますよ?」

「まゝまゝ焦るなつてwまだまだ
礼は始まったばかりだからなあ?
次はコイツでもてなして
やるよ たつぷりとな♡」

ズル

「なっ…あなたソレ
何をしたの?!」

「おやおやw婦警さん
強化チンポ見るの
初めて?w」

「強化剤使いながら
女犯じまくるとさあ
女をヒリヒリ言わせるように
本能が刺激されて
男性機能がこの通り
強化されてくつてわけw」

「マジでこのチンポ
ヤバいぜ?w
挿れられた女全員
天国イキよw」

ヒキ...

ヒキ...



「お願い止めてっ!!! 私!!!
そういうのはまだ
シたことなくてっ!!!
何でもするからっ
それだけは!!!」

「は?? Wマジ? W Wもしかして
さっきのバイブが
初体験の相手だった? W」
「ハハハ W そつか、それは
流石に可哀想だから!!!」



「さ、美琴ちゃん♡
ぶん殴つてくれたお礼
たっぷりしてあげる
からね W」
嫌っ!!!
初めてはレント先輩に
取っおいてるのになっ



「お礼もかねて責任もって
初モノアクメさせてあげるね♡」

「ゲハハ W 婦警さんが
そんなオホ声出しちゃ
ダメでしょ W W」



何っし...
太っおおお♡

「オラどうだ？W初体験の強化男性様のチンポは？女の弱ええトコ全部圧迫されるだろ？W」



何っ？！♡
ソコなに？♡♡♡

「さうてこの女の弱点は...」

「おW子宮口かW
ほれほれW
ココやべくだろ？W
あ？答えるよW」



「それじゃ初めてついでにこのまま中出しも初体験させてやっかW」

それは絶対ダメっ...!!
それはレント先輩以外には絶対につ...

「へW安心しなWさっきの弱化剤は妊娠しないように調合されてるからなW」
「この射精で妊娠することはないよWただ」



「フハハWどうだ？W人生初のポルチ才責めはW」

こんなの知らない♡
自分でするの♡
全然ちがう♡

「はいW処女オナホ貫通かんりよW対ありでしたW」

ヤツバ何これええ♥♥♥
奥シンジンするうう♥♥♥
イクの止まないいい♥♥♥

「婦警さんW自分のマンコの取り締まり出来てませんよW」

「ゲハハハWコイツザーメン全部噴き出してんじゃんW」

「しゃアアア」

「さして美琴ちゃん次のおもてなしは」

「子宮口弱点の美琴ちゃんのためのポルチオ責め特化のマシンバイブだよ」

「しかもアクメ感知して俺らのザーメン入りの特製強化剤が飛び出す仕掛け付き」

「さして」で美琴ちゃんに問題ですW」

「女の子に強化剤使いながらアクメさせ続けると」

「何の機能が強化されるでしょうかW」

ウンでこい

ガラガラ

絶頂を感知
強化剤注入
します

ポコッ

ビビビ...

ハッ

シムシム...

ハッ

ハッ

「ほらWまた強化剤
ぶち込まれちゃったよW
頑張れ♡頑張れ♡負けるな
美琴ちゃん♡」

「このままアクメしながら
子宮に直接強化剤ぶち込まれ
続けたら...」

「ポルチオアクメ中毒の
廃人ザコマンコに
なっちゃいますよおW」

ヤバいつ...!!
意識が...

絶頂を感知
強化剤注入
します

ポコッ

ハッ

「ゲハハハ言ってる傍から
アクメしてるぞコイツW」

奥がどんどん
敏感になってく...

イクの我慢できないいつ!
イクの我慢できないいつ!♡♡

「どうする?W婦警さん♡
仲間に助けを求めたほうが
良いんじゃない?W」

「そっそっW
俺ら優しいからさW
この動画警察に送ってやるよW」

助けてっ...
シント先輩
じゃないと私もう...



